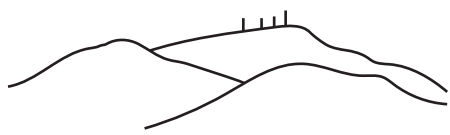


Youth Manna

2021/12/6 - 12/12



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/12/6(月)

ヨブ記 34:16-37

エリフは、神が正しい方であり、人の歩みすべてをご存知の方だと告白している。だから、神様が裁くとき、それは正しい裁きだし、もし神様が黙っておられるように思える時は、それも神様が成り行きを見守っておられるのだと理解することができる。

ヨブはことば数を多くして、まるで神様が正しいことを行なっていないかのように言っていた。だから心にある高慢が取り去られへりくだるまで、神様の試みを受けるようにとエリフは言っているよ (36)。

伝道者 3:11 を読んで、神様のことを思い静まろう。今日自分の道の上に神様の目があることを感謝して受け取ろう！

2021/12/7(火)

ヨブ記 35 章

時に僕たちは、自分が自分が、と自分ばかり見てしまうことがあるかもしれないね。ヨブも、自分の訴えや悩みばかりを見てしまって、神様を見上げることを忘れてしまっていたのかもしれない。エリフは5節で「天を仰ぎ見よ」と、神様を見上げるように言っているよ。自分の祈りの課題ばかりに心が傾いて、神様ご自身に目を向けていないということが起こっていないだろうか。

神様は決して君を見捨てないし、君の祈りを聞きもらさない。エリフはヨブに「あなたは神を待て」と言ったよ。どんな時も、神様を信じて待つ心を持つことができるようにお祈りしよう。そして、自分の願いが成る以上に、神様を求めよう！

2021/12/8(水)

ヨブ記 36:1-14

エリフは、神について正しい理解を持つようにとヨブを諭している。まず、神は全能の神であり、全知の神であると語る。神は全てを理解し、悪しき者や苦しめられている者に適切な報いを与えることができる (1-7)。そして、神は無意味に苦しめることはされないと語る。正しい者が苦しむならそれは無意味なことではなく、それが罪によるものなら、神はその問題を必ず告げてくださる。神の戒め、命令に応じるなら、人は自分の幸せを回復する (9-12)。

神が答えてくださらないと悩んでいたヨブに対して、エリフは、神は必ず苦しみの意図を告げてくださると断言した。神が与えられる試練は、その人に幸いをもたらすものであると心得よう。

2021/12/9(木)

ヨブ記 36:15-33

エリフは、神様の全能さを語っている。神様は私たちの理解を遥かに越えた偉大な方であるけれど、一方で神様は私たちを友と呼び親しい関係へと招いてくださる。しかし、それは私たちだけでなく、その中にも私たちは尊敬と恐れを持つ必要がある。

26節「見よ。神はいと高く、私たちに知ることができない。その年の数も測り知ることができない。」

私たちに神様は計り知れない。近しくも、絶対の方である神様に感謝し、歩もう！神様の計画を選び取る者となろう！

2021/12/10(金)

ヨブ記 37 章

エリフは神様の大きさを、数々の自然界を用いて語ろうとしている。私たちの周りにある自然を通して、創造主である神様のみわざがどれほど素晴らしいのかを知ることができるね。人は科学の進歩によってたくさんの知識を得たけれど、知れば知るほど分かることは、それを創られた神様の偉大さだ。

今日は、空や山、植物や生き物に目をとめて、それらを創造された神様について立ち止まって考えてみよう (14節)。そして、自分がその神様の最高傑作であることを理解しよう！そのような自分として生きていこう (エペソ 2:10)！

2021/12/11(土)

ヨブ記 38:1-15

神様がついに直接ヨブに語りかけられたね。その神様のことばは、ただヨブに正解を答える形ではなく、問いかけるようにヨブに話した。ヨブがその問いかけを通して、神様の心に気づくことができるように、壮大なこと、身近な自然のことを例に挙げて語っているね。

ヨブは自分の正しさを主張して、神様からの返事を求めたけど、神様はあくまで神様こそが全てを治めている方で、ヨブはその元にいる1人の人。だから、物事の理由がわからない中でも、神様を信頼するべきだったんだ。

私たち人には、つい神様の偉大さを忘れて自分中心に物事を考えてしまう弱さがある。今、静まって神様の偉大さを実感できるよう祈り求めていこう！

2021/12/12(日)

ヘブル 2:9-18

～まずみことばを読み
イエス様について思い巡らそう～

.....
イエス様は罪と全く関わりのない方だったのに、低くされ、僕らと同じような姿をもって来てくださった。君にも、捨てられないものがあるだろうか。これだけは誰にも渡せないと思うものは誰もが持っている。しかしイエス様は、罪の中に生きていた私たちのために、栄光も、神としてのあり方も、全てを捨てて来られ、自分の命さえも捨てられた方だ。

今、イエス様は君をどのような目で見られるだろうか。今日、イエス様の愛の眼差しを一身に感じながら歩もう！愛された者として生きよう！